

記入例

排水設備工事完成届

令和〇年 〇月 〇日

神戸市長 宛

設置義務者（届出者）
（法人にあつては名称及び代表者の氏名）
氏名 **神戸 一郎**

次のとおり排水設備の新設等の工事が完成したので、神戸市下水道条例第3条第3項の規定により届け出ます。

1 施工場所	神戸市中央区加納町6丁目5番1号
2 確認番号	〇〇〇〇〇〇〇
3 完成年月日	令和 〇年 〇月 〇日
4 施工業者名	〇〇 設備（株） 指定工事店番号（ 〇〇〇 ）

5 添付書類

写真（施工状況及び排水設備の接続方法が確認できるもの。阻集器等を設置した場合は、当該阻集器等の設置場所、寸法及び型式番号が分かるもの。その他本市指示によるもの。）

完成図（神戸市下水道条例施行規則第4条に規定する事項の変更がある場合に限る。）

※ 開発行為の場合、本申請では添付書類（写真、完成図）は不要です。

6 施工確認・引渡し内容の確認

次のとおり、施工業者（責任技術者 三宮 太郎）と設置義務者で確認をした。

<施工確認> 確認者：施工業者

公共下水道への支障がない

神戸市下水道条例第4条第2項の規定により、排水設備を公共下水道に接続するときは、誤接続など公共下水道への支障がないように施工した。

排水設備に問題がない

施工した全ての排水設備の機能、品質、性能に問題がないことを確認した。

<引渡し内容の確認> 確認者：設置義務者

写真・完成図・申請書類の引き渡し

施工業者から写真・完成図・申請書類の引き渡しを受けた。

排水設備の維持管理

ます蓋の開け方、ますの清掃等について理解した。

屋外水栓の排水を雨水排除施設に接続する場合

石鹼など公共用水域の水質悪化になるものの使用禁止について理解した。

阻集器等を設置した場合の維持管理方法

清掃方法及び適切な清掃を行う必要性について理解した。

確認実施日 : 令和 〇年 〇月 〇日

水栓番号 : 〇〇〇〇〇〇〇

※ 水道水以外を使用する場合は、様式第5号「公共下水道使用開始届」を別途ご提出ください。

注意 この届書は、本人又はその代理人が記入するものです。

（ここから下は、記入しないでください。）

排水設備工事完成届が提出されましたので、受理してよろしいか。

	受理年月日	年	月	日

注意事項

下記の項目について確認のうえ、提出してください。

確認番号（排水設備工事計画確認申請にて通知しております）を記入してください。

排水設備の工事が完成した年月日を記入してください。（外構工事が未完成でも構いません。）
なお、完成届の提出期限は排水設備の工事完成後、30日以内です。
30日を超えた場合、神戸市下水道条例施行規則により、指定の取り消し等の処分を行うこととなります。

工事写真を添付してください。以下を撮影し、提出してください。※ 開発行為の場合は不要です。

- ・建物の東西南北周辺（ますの並びがわかるもの）
なお、必要に応じて、複数枚になってもよい。
- ・接続ますへの接続状況（施工状況がわかるもの）
- ・雨水接続先仕上げ状況（管口まわりの仕上げがわかるもの）
- ・屋外手洗い場等の設置状況（複数ある場合は設置箇所分）
（汚水接続の場合は、屋根との位置関係がわかるもの）
- ・施工状況写真（任意箇所の汚水雨水が同一掘削面にあるものが望ましい）
- ・阻集器、地下排水槽、ディスポーザ排水処理システム、潜熱回収型ガス給湯器を設置する場合は、型式や大きさ、認証マークがわかるもの

変更申請を必要としない変更（通称：軽微な工事）の場合は、「完成図」をチェックし、提出してください。
変更申請を必要とする事項において、変更申請を怠っていた場合、神戸市下水道条例施行規則により、指定の取り消し等の処分を行うこととなります。

設置義務者（施主）と責任技術者で「公共下水道への支障がない」から「雨水排除施設に接続する場合」までを確認し、チェックしてください。
なお、阻集器等、適切な維持管理（清掃）を要する特殊構造物を設置した場合は、「阻集器等を設置した場合の維持管理方法」も確認し、チェックをしてください
設置義務者（施主）と施工業者で確認した年月日を記入してください。